慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	特集 : 大震災から三年 : 経済と世相 : 序
Sub Title	Preface
Author	丸山, 徹(Maruyama, Toru)
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	2014
Jtitle	三田学会雑誌 (Mita journal of economics). Vol.107, No.2 (2014. 7) ,p.157(19)- 158(20)
JaLC DOI	10.14991/001.20140701-0019
Abstract	
Notes	特集 : 大震災から三年 : 経済と世相
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-20140701-0019

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

「三田学会雑誌」107 巻 2 号（2014 年 7 月）

特集：大震災から三年

――経済と世相――

東北の大震災からはやくも三年半の歳月が過ぎようとしている。その間に各専門の立場から多くの研究結果や提言がなされてきたのであるが，当然のことながら，震災の直後とある時間が経過したあととでは，震災によって生じた現象やその帰結に対する理解に小さからぬ相違が認められる。

このたびの特集は，広い意味での経済学の立場から，震災直後に提示された専門家の知見と，三年後の時点でのそれとを並べて収載し，その比較を容易にすることをつうじて，読者諸賢の参考に供しようとするものである。

便宜上，全体を三部に分け，まず第 I 部には，震災直後に行われた三つの講演の記録を収めた。第 II 部は，およそ三年後の現地点における考察で，ふたつの講演とひとつの論説をその内容とする。第 III 部には，その枠におさまらないふたつの作品を収録した。

茂木愛一郎氏（第 II 部），須田伸一氏（第 III 部）の論説は今回初めて発表される書き下しである。また他の収録作品は下記のようなさまざまな機会に行なわれた講演の速記録に基づき，それに若干の加筆・修正を施したものである。

林　　敏彦 「災害ユートピアが終わるとき」
年の瀬経済講演会：聴いて観て考える！「日本経済この一年」
主催　慶應義塾大学経済学部，現代の政治・経済を考える「樫の会」
平成 23 年 12 月 3 日，於 慶應義塾大学
『経済セミナー』 平成 24 年 6・7 月号より転載

土居　丈朗 「大震災後の日本財政の課題」
現代の政治・経済を考える「樫の会」例会
平成 23 年 9 月 15 日，於 霞山会館

雨宮　正佳 「大震災後の日本経済と金融政策運営」
同上

後　　昌司 「震災後の東北経済の現状と課題」
一般社団法人樫の会例会
平成 26 年 3 月 10 日，於 霞山会館

齊藤　　誠 「私たちは原発問題とどう向き合うべきか」
震災から三年――経済と世相
主催　慶應義塾・三田文学会，後援　岩波書店・一般社団法人樫の会
平成 26 年 3 月 22 日，於 慶應義塾大学

丸山　　徹 「銀座復興」
公益社団法人糖業協会昼食講演会
平成 25 年 3 月 21 日，於 糖業会館
慶應義塾読書会例会
平成 26 年 2 月 13 日，於 糖業会館

記録から明らかなとおり，本特集に収録された講演の殆どは一般社団法人樫の会（旧称：現代の政治・経済を考える「樫の会」）の企画・制作によるものである。また調査費等資金面の一部を慶應義塾学事振興基金研究科枠の助成に負うている。特に記して謝意を表する。

丸　山　　徹
（経済学部教授）